

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	庄原市の未来(あす)をつなぐ、あらたな「公」コミュニティづくり事業
対象地域	広島県庄原市(市内は7地域、88自治振興区から構成)
活動概要	<p>1. 本市の現状と地域課題 (1) 過疎問題の発祥の地とされる中国山地の内陸都市で、少子高齢化、過疎化が顕著 (2) 西日本最大の市域面積を有し、多様な地域と個性を持つ一方、都市としての一体感が欠如 (3) 住民自治組織活動では先進地であるものの、小さな自治では解決できない課題が多い。 平成17年に、住民自らが自らの地域を守り、地域づくりを主体的に実践し、区域内にある行政区や小集落、老人会や女性会、各種活動団体など地域全体を包括する組織である「自治振興区」を組織し、住民主体の地域づくりを目指しているものである。 しかし、特色のある活動を展開されている自治振興区がある一方で、少子化・高齢化等により活動の低迷や自治振興区単体では解決できない課題や存続すら危ぶまれる地域も見られる。こうした状況を打開するため、県立広島大学と連携し88自治振興区の実態調査を行い、分析を進めているところである。</p> <p>2. 「新たな公」＝「88自治振興区」の可能性 住民自らが地域を守り、地域づくりを主体的に実践し、人と地域が輝く自治振興区によるまちづくりをめざす。 現在ある自治振興区連合協議会は、情報交換の場にとどまっており、これを地域のニーズに応じた各種社会サービスを自ら提供する自治振興区の形成支援が行えるよう、地域のシンクタンクや各種団体等と連携し、支援組織として整備する。</p>
今年度の主な取組	<p>民間が主体となって地域組織支援を行う「新たな公コミュニティ支援センター(仮称)」の設置を将来の目標として、今年度はまちづくりの専門家である「地域コーディネーター」の派遣等による各自治振興区の活動支援を試行する。</p> <p>①自治振興区活動お助け総合窓口を設置し、困り事解決のために必要な支援を行う。 ②自治振興区の地域資源の掘り起こしと、地域資源を活かした地域振興策の検討のために必要な支援を行う。 ③以上の活動の成果を踏まえ、自治振興区を中心とした地域コミュニティ創生のあり方を検討する。</p>

活動結果	<p>広島県立大学との協働により、自治振興区の現状と課題を分析、把握した。また、「お助け相談窓口」の設置により、少子高齢化等により活動が低迷している自治振興区からの相談を一括して受け付ける取り組みを展開し、実際に相談を受けた課題解決に向けたワークショップを行った。さらに、自治振興区単体では解決できない課題を持つ地域の存在や、NPOや市民活動団体など他の新たな公の主体との連携不足を解決するため、「お助け相談窓口」を中心として、NPOや市民活動団体で構成する「自治振興区応援バンク」を設置し、自治振興区同士の連携事業の促進や、他の主体との連携を図った。</p>
当初予想していなかった効果	<p>当初、88の自治振興区の活動支援に注目していたが、一つの自治振興区では難しいイベントなどを周辺の自治振興区と共同で取り組む事業が見られた。これは、自治振興に関する基本的な役割は一つの自治振興区で行いつつも、より大規模なイベントなど必要であれば複数の自治振興区の連携事業へと発展する可能性を示唆している。自治振興区単体を支援するだけでなく、多様な活動を視野に入れた支援を考える必要がある。</p>
実施状況(写真)	<div data-bbox="632 931 1257 1368" data-label="Image"> </div> <p>【写真】 「自治振興区応援バンク」設置に関する検討会議</p>
応募団体名	庄原市自治振興区連合協議会
リンク	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/
部局／担当者名	庄原市役所自治振興課
連絡先	0824-73-1209
推薦市町村名	庄原市